

ニカラグア定期報告（２０２５年３月）

【要旨】

内政面では、憲法改正に伴う選挙法改正が実施された。外交面では、ＳＩＣＡ事務局長選出問題に関し同加盟国間で非難の応酬が繰り広げられた。また、中南米で初となる職業訓練施設「鲁班工房（Taller Luban）」の設置が決まった。

【主な出来事】

１ 内政

（１）選挙法の改正

６日、憲法改正を踏まえ、ニカラグア国会が選挙法（法令第３３１号）の改正承認プロセスを終了。１０日、同改正法が官報に公示され発効した。

同改正選挙法の主要なポイントは、これまで任期５年であった大統領の任期を、男女それぞれ１名によって構成される共同大統領制導入に当たり任期６年へと延長、祖国への反逆罪を犯した者の立候補禁止、最高選挙管理委員会（ＣＳＥ）メンバー人数を１０名から６名へ縮小、国会議席定数の２議席増（９４議席へ）等。

（２）国軍関連法の改正

２５日、ニカラグア国会は、「軍に関する組織・管轄・社会保障法」の改正を全会一致で承認し、共同大統領両者が国軍最高司令官となることが決まった。また、愛国予備軍（Reserva Patriótica：改正憲法に追加された新たな機関）は、国軍の一部として国家の防衛を目的に存在する旨規定。

２ 外交

（１）インド外務担当閣外大臣のニカラグア訪問

６日、シュリ・パビトラ・マルゲリータ・インド外務担当国務大臣が、二国間関係深化を目的としてニカラグアを訪問した。

（２）ＳＩＣＡ加盟各国による同事務局長任命問題

ア １８日に開催されたＳＩＣＡ外相会合において、ニカラグア政府により推薦されたモンカダ元外相をはじめとした３名のＳＩＣＡ事務局長候補（２０２４年１１月に拒否された候補と同様）が再度拒否されたことを受け、ニカラグア政府は、反対票を投じたコスタリカ、グアテマラ、パナマ、ドミニカ共和国を非難する声明を発出した。

イ ２６日、ジェンスケ外相は、ＳＩＣＡ議長国のコスタリカ政府によるニカラグア政府宛２６日付書簡（要旨：３月１８日のＳＩＣＡ外相会合において、同事務局長人事についてＳＩＣＡ加盟各国の間でコンセンサスに至らなかったことに関し、１０日間以内に加盟

各国が納得する条件を満たす新たな３名の事務局長候補がニカラグアから提示されない場合、コスタリカは、ＳＩＣＡ議長国としてこの行き詰まり状態に決着をもたらすべく適切な対応策を講じる旨伝達するもの）を非難する、同日付声明をＳＩＣＡ加盟国元首及び外相宛に発出した。

（３）中米司法裁判所（ＣＣＪ）からの脱退意向表明

１８日、ニカラグア外務省は、同日付ジェンスケ外相発書簡を以て同国が中米司法裁判所（ＣＣＪ）から脱退する意向を表明した。ＣＣＪ脱退事由として、ニカラグア政府は、同裁判所が、設立理念に反する形で、中米・カリブ司法理事会やＣＣＪ規約とは関係ない国々の意向に従属するなど、中米地域の本当の意味での統合に資するような発展が叶わなかった点等を挙げた。

（４）対ニカラグア国際労働機関（ＩＬＯ）ハイレベル調査委員会設置

２０２３年、ニカラグア政府による労働権侵害などを理由に国際経営者団体連合（ＩＯＥ）が労働環境に関する陳述書をＩＬＯに提示したことから、同国際機関が（同陳述書に関する調査への）ニカラグア政府による協力を要請したものの、同政府が対応しなかったため、１８日、ジュネーブで開催されたＩＬＯ理事会会合にて、ニカラグアにおける労働権の侵害及び労働ハラスメントを監視・調査するため対ニカラグア調査委員会の立ち上げが決定された。

なお、ニカラグア政府は２月２８日にＩＬＯ脱退表明をしているが、脱退手続きが完了するのは２０２７年２月。

（５）中国との中南米初の「魯班工房」協力協定締結

２６日、ニカラグア政府は、中国職業訓練施設「魯班工房（Taller Luban）」との協力協定署名を行った。署名式には、ラウレアノ・オルテガ投資・貿易・国際協力担当大統領顧問（オルテガ・ムリージョ共同大統領夫妻子息）、ロイダ・バレダ国立科学技術庁（ＩＮＡＴＥＣ）長官等が出席した。

魯班工房は、中国が推進する職業訓練プログラムであり、アジア、ヨーロッパ、アフリカで３０以上の魯班工房が設置されている。ニカラグアでは、自動化技術、電子機械工学技術、IoT 技術分野での職業訓練のための設備、教員研修、カリキュラムが提供される。

（６）マルティネリ元パナマ大統領に対するニカラグアへの通行許可証の発行

ア ２７日、パナマ外務省は、在パナマ・ニカラグア大使館に政治亡命中のマルティネリ元パナマ大統領に対し、安全にニカラグアに渡航するための通航許可証発行を認めたことを発表した。なお、この通行許可証は２７日より発効し、有効期間は２０２５年３月３１日の２４時までと定められた。

イ 31日、ニカラグア外務省は、パナマ外務省がマルティネリ元大統領に対してニカラグアへの通行許可証を発行したにも関わらず、その後、パナマ司法当局から国際刑事警察機構（INTERPOL）に対して「赤手配」の要請が出された件について、これを理解できないとする非難声明を発表した。その上で、パナマ当局が適切な行動を取らない限り、マルティネリ元大統領を受け入れることはできないとして、同氏が搭乗予定であった外交機をキャンセルした。

（7）第25回 ALBA-TCP 政治審議会へのジェンスケ外相出席

29日、ベネズエラ・カラカスで開催された第25回 ALBA-TCP 政治審議会にジェンスケ外相が出席し、反帝国主義、反ファシスト闘争、植民地主義への非難、キューバ国民・政府への連帯、パレスチナ紛争に係るイスラエル非難などを述べた。

（8）北朝鮮対外文化交流協会ラ米局長と駐北ニカラグア大使との会合

31日、ムンギア駐北朝鮮ニカラグア大使は、平壤において、Ri Kyong Jin 北朝鮮対外文化交流協会ラ米局長と会合を行った。

3 経済

（1）中国との経済関係及び経済協力

ア 500台の中国製路線バス車両引き渡し

8日、ニカラグア政府が購入した Yutong 社製路線バス 500 台の引渡式典が、マナグア市内ウゴ・チャベス環状交差点にて執り行われた。今回の引き渡しにより、中国製路線バス 2 千台導入が達成されたことになる。同式典には、オルテガ共同大統領、ムリージョ共同大統領、ラウレアノ大統領顧問、Chen Xi 駐ニカラグア中国大使らが出席した。

イ コリント港における中国製港湾設備引渡式典開催

11日、コリント港にて中国製可動クレーン等 40 設備の引渡（納品）式典が開催された。同設備導入により、コリント港ターミナル稼働能力が改善することが期待される。

ウ 「El Hato」太陽光発電所建設計画起工式典開催

24日、中国交通建設集团有限公司社（CCCC）が事業を請け負う「El Hato」太陽光発電所建設計画の起工式典が Ciudad Dario にて開催された。同発電所の発電能力は 67.35 メガワットに及び、ニカラグア政府に約 6,800 万米ドルが融資されている。

（2）ニカラグアへの郷里送金

10日、ニカラグア中央銀行が発表したところによれば、2024年1月比で2025年1月は郷里送金総額が22.2%増の4億4,820万米ドルであった。

なお、２０２５年１月の主な郷里送金元内訳は、米国３億７，３５０万米ドル（８３．３％）、コスタリカ３，４００万米ドル（７．６％）、スペイン２，４５０万米ドル（５．５％）であった。

（３）２０２４年ＧＤＰ成長率等

１９日、ニカラグア中央銀行（ＢＣＮ）は、プレスリリースにて前年比２０２４年ニカラグアＧＤＰ成長率等報告書を公開した。

同報告書によれば、２０２４年実質ＧＤＰ成長率は＋３．６％（２０２３年：＋４．４％）であった。主な分野別では、建築：＋１８．１％、ホテル・レストラン：＋１０．７％、商業：＋６．２％、金融等仲介サービス業：＋５．７％、運輸・通信：＋４．４％、水道：＋４．２％、漁業・水産業：▲８．７％、鉱山開発：▲０．５％、農業：▲０．３％。

また、２０２４年名目ＧＤＰ額は１９６億９，４００万米ドルであり、２０２３年比１１．２％増であった。

（４）２０２４年外国直接投資

２０日、ニカラグア中央銀行は、外国直接投資額等に関する報告書を公表した。

同報告書によれば、２０２４年通年での総外国直接投資額は３０億３，９９０万米ドルに達し、２０２３年比８．６％増。純外国直接投資額は１３億５，２３０万米ドルで２０２３年比２１．４％増であった。２０２４年の対ＧＤＰ比総外国直接投資額は１５．４％であった（２０２３年：１５．７％）。対ＧＤＰ比純外国直接投資額は６．９％（２０２３年：６．３％）。

なお、外国直接投資額が最も多かった経済活動分野は製造業の４億１，９１０万米ドル（全体の３１％）、金融仲介業が２億８，２６０万米ドルで２０．９％を占めた。

同投資額が多かったのは、高い順にパナマ（２４．９％）、米国（２０．９％）、スペイン（７．１％）であった。

（５）中央銀行による２０２４年年次報告書公表

２８日、中銀が公表した２０２４年年次報告書によれば、同年ＧＤＰ成長率は＋３．６％（２０２３年：＋４．４％）、右成長率に貢献したのは主にサービス業及び建設業で、消費及び投資額が上昇基調にあったことに起因する。他方、インフレは前年度比２．８４％（２０２３年：５．６％）であった。郷里送金は１２．５％増で５２億４，３１０万米ドルとなった。

＜主要経済指標＞

	2023 年 1 月	2024 年 1 月	2024 年 12 月	2025 年	
				1 月	2 月
年間累計インフレ率	0.10%	0.28%	2.84%	0.17%	1.13%
貿易収支（百万ドル）	▲149.6	▲338.4	▲335.5	▲301.5	▲287.0
輸出 FOB（百万ドル）	361.6	317.2	352.6	378.4	384.1
輸入 FOB（百万ドル）	511.2	655.6	688.1	679.8	671.1
海外送金受取額（百万ドル）	317.0	366.8	484.4	448.2	460.9
外貨準備高（百万ドル/期末）	4,524.0	5,471.6	6,105.1	6,147.7	6,285.9

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）